



# 「女たちが、なにか、おかしい」

## —おせっかい宣言

# 三砂ちづる

11月26日(土) 発売!!

四六判並製 / 約216ページ / 予価: 1,600円+税 / 装丁: 寄藤文平 (文平銀座) / ISBN: 978-4-903908-87-8

恋愛しない男女、不機嫌な夫婦、見失われる人間の本能…に活を入れ、若者の可能性、受け継ぎたい知恵、外国で見つけた希望の芽…を言祝ぐ。

## ミサゴ先生の、耳にイタく、心にあたたかい話。

落ち込むなら、もっともっと  
ラディカルに落ち込んでもらいたい。

おおよその「仕事」と呼ばれているものの  
ほとんどは大いなる遊びでしょ?

若い皆さんはもっと聡明になれる。  
バカな先の世代は見習わず、先に行きましょう。

女たちよ、愛する力をとりもどそう。  
愛と祈りは女の仕事だ。

### <内容>

- ・フリーセックスと同棲
- ・おむつなし育児
- ・完璧な死のタイミング
- ・震災と助産婦
- ・「お産が痛い」は呪い
- ・ブラジルには働く人と働かない人がいる
- ・少し前の人は背広を型紙からつくった
- ・民族衣装の力
- …etc.

三砂ちづる (みさご・ちづる)

津田塾大学国際関係科教授、作家。1958年、山口県生まれ。兵庫県西宮市で育つ。京都薬科大学卒業。ロンドン大学 PhD(疫学)。著書に『オニババ化する女たち』(光文社新書)、『月の小屋』(毎日新聞出版)、『女が女になること』(藤原書店)、共著に吉本ばなな氏との『女子の遺伝子』(亜紀書房)、渡辺京二氏との『女子学生、渡辺京二に会いに行く』(亜紀書房・文春文庫)、訳書にパウロ・フレイレ『新訳 被抑圧者の教育学』、編著に『赤ちゃんにおむつはいらない』(勁草書房)などがある。

11 月刊	『女たちが、なにか、おかしい —おせっかい宣言』 三砂ちづる ISBN: 978-4-903908-87-8 予価 ¥1,600+税	ご予約数 冊
	2 刷	『女、今日も仕事する』大瀧純子 ISBN: 978-4-903908-65-6 定価 ¥1,500+税

\* 仕掛け用パネルご用意します! → A4 ・ A3

\* ゲラお送りできます! → 要 ・ 不要

●ミシマ社の本の仕入れ方法について (基本パターン)  
直接取引 (返品可) \*詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。

- ①掛率 : 70%
  - ②納品 : 宅配便で直送します (送料はミシマ社負担)。
  - ③返品 : 随時入帳可能 (送料は書店様負担)。
  - ④精算 : 新刊などは3カ月後、補充などは当月請求。  
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、次回の請求より相殺を原則とする。
  - ⑤支払 : 月末締めでご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
- 取次ルート (返品不可)  
注文品のみ出荷、返品はできません。八木書店様経由で各取次へ搬入します。



貴店名:

ご担当者:

様

通信欄: